學校

岩代須賀川町東四丁目四番地　服部貞子（十五）

あゝ學校、此處には慈み深き師の君あり。如何なる秘密も包まざる親友も居り。しかのみならず終日師の君の厚き御教へに益々己が智を廣め、へだてなき友と善惡を言ひ合ひて己が品行の惡しきを去り、彌々善に進ましむるも此處なり。遊歩時間には上下別なく互に憂きを忘れて面白く遊ぶも此處なり。されば有難くも父母の恵みにてかゝる樂しき所に身をゆだね得るものは益々ふるつて徳をみがき業を勵みて國家の爲につくさずして可ならんや。

【入力者注】原文に使用されている繰り返し記号は下図のものです。

底本：「少女界」第一巻第六號　明治三十五（1902）年九月十一日發行

本資料は、石井由美子さんにご提供いただきました。

入力：小林　徹

公開：令和三年三月十八日

リンク：水野仙子ホームページ